

園芸市場情報

平成31年4月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

4月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年並か！

果実類は、入荷量は前年を上回り、相場は前年を下回る！

花きは、入荷量は前年を下回り、相場は前年を上回るか！

<今月の写真>

* 市場は変化していきます！ *

平成30年10月22日に卸売市場法が改正され、平成32(2020)年6月21日から施行されることとなりました。この施行までの期間は、言わば準備期間として業界内においても様々な思惑の中で新たな対応を模索する動きが始まりつつあるようです。

ここ大田市場においては、コールドチェーン化への対応として新たな荷捌き施設が建設され、完成を迎えようとしています。この施設は、主に仲卸業者が利用する計画となっているとのことで、利用業者における商品の品質管理や異物混入防止などの衛生管理が、食品衛生法の改正に伴ない2022年に見込まれる「HACCP対応の義務化」に向けて、より厳格に実施されていく事が予想されます。

市場としては、このことによる新たな流通展開が起こる可能性も期待されるところです。

この他にも卸売市場法の改正により、取引の形態そのものが変わる可能性もあり、今後は、その変化を察知し素早く対応していく事が、産地にも求められることとなります。

市場はどんどん変化していきます。変化に対応できる産地が「良い産地」となる可能性があります。率先して変化に対応できるよう、産地も努力しなくてはいけない時代が来ようとしています。



完成間近の「加工・荷捌き棟」
従来の市場らしからぬ閉鎖型の施設
となっています。



今年5月に開場30周年を迎える大田市場。
30年間変わらぬように見えて、この大屋根の
下の取引は、大きく変わろうとしています。

CONTENTS (目次)

I 青果情報

- 01 3月(中旬まで)の経過
 02 東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格
 04 4月の見通し
 05 今月の青果物
 特集「キャベツ」

II 花き(切花)情報

- 06 3月(中旬まで)の経過(販売経過、品目別経過)
 4月の見通し(カーネーション・カラー)
 2月の入荷量と単価の経過 <<確定値>>

III 千葉県内市場における園芸品の市況概況

- 07 2月の青果物と花き

IV やっちゃんば閑話

- 08 野菜のお名前

V 首都圏掲示板

- 09 読者の皆様へのお知らせ

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ±2%以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 2月下旬～3月中旬までの経過

気象 季節を先取りしたような暖かい陽気の日があり、また、関東の少雨傾向は断続的な雨で解消された。

気温は、3月中旬に冷え込みがあったものの、全国的に平年を上回る地点が多く、特に東日本で平均気温が高い傾向であった。

降水量は、関東甲信、中国四国、九州地方で平年を上回り、東日本の日本海側と北海道では平年を下回る地点が多かった。

日照は、東日本及び北海道の日本海側で平年を上回る地点が多かった。

野菜類

入荷量 東京都中央卸売市場へは、関東産、西南暖地産を中心に入荷し、品目は豆類など春物野菜が徐々に増量した。

高温と適度な降雨により、「キャベツ類」「にんじん」などの入荷量は前年を大幅に上回った。その他の多くの品目は、前年並から前年を上回る入荷量だった。

野菜全体では、2月下旬から3月中旬の入荷量は117,867 t（前年比104.2%）と前年をやや上回った。

相場 潤沢な入荷が続き不足感がないことから、価格は、「はくさい」が前年比22.9%、「キャベツ類」同35.2%、「だいこん」同49.2%、「にんじん」同58.0%、「ねぎ」同60.7%など多くの品目で高かった前年を大幅に下回った。

野菜全体では、2月下旬から3月中旬の価格は227円（前年比82.0%）と高かった前年を大幅に下回り、平年も下回った。

果実類

入荷量 「かんきつ類」「りんご類」「みかん類」「いちご類」を中心に出回った。

「かんきつ類」は生育順調で潤沢な入荷となった。「りんご類」は小玉傾向だった前年を上回る入荷量となった。「いちご類」は生育前進や日照不足などの影響で、入荷量が安定せず前年を下回った。

果実全体では、2月下旬から3月中旬までの入荷量は30,066 t（前年比105.3%）と前年をかなり上回った。

相場 価格は、入荷量の少なかった「いちご類」「メロン類」では引き合いが強くなり、前年を上回った。台風による下位等級の発生がある「りんご類」は前年をかなり下回った。

果実全体では、2月下旬から3月中旬までの価格は494円/kg（前年比100.6%）と前年並となった。

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

平成31年2月下旬～3月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	開市日数 本年6日・前年5日				開市日数 本年7日・前年8日				開市日数 本年8日・前年7日				開市日数 本年21日・前年20日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	35,642	131.2	225	72.2	37,739	84.2	227	79.4	44,486	108.2	228	93.6	117,867	104.2	227	82.0
うち外国産	1,143	83.7	228	100.1	1,364	64.4	220	100.6	1,608	94.5	223	106.6	4,116	79.3	223	102.4
果実総量	9,373	122.8	506	102.6	9,801	87.2	480	95.6	10,893	112.6	496	104.0	30,066	105.3	494	100.6
うち外国産	1,057	117.8	233	101.6	1,152	78.5	233	101.5	1,421	105.0	238	105.7	3,630	97.6	235	103.1

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,995	139.2	67	38.3	2,928	78.4	76	45.1	3,780	93.6	70	66.8	9,702	97.8	71	49.2
にんじん	1,895	128.2	104	59.4	1,993	89.3	103	57.6	2,866	157.4	113	56.0	6,754	122.1	108	58.0
はくさい	3,115	115.8	29	15.8	2,547	74.3	38	23.8	2,657	120.7	42	34.8	8,319	100.0	36	22.9
キャベツ類	5,336	175.0	68	24.2	6,364	124.6	64	35.1	7,094	115.8	57	46.5	18,794	131.6	63	35.2
ほうれんそう	511	130.6	355	70.2	560	79.3	307	80.4	509	95.9	362	98.3	1,580	97.1	340	83.5
ねぎ	1,207	129.0	268	57.4	1,212	84.5	283	61.8	1,547	130.2	237	64.9	3,967	111.5	260	60.7
レタス類	2,204	140.7	173	55.0	2,322	72.0	163	73.8	2,592	77.2	157	115.2	7,119	87.3	164	80.3
きゅうり	1,578	119.4	355	113.7	1,456	62.3	352	112.6	2,136	108.1	360	117.2	5,169	91.8	356	114.7
なす	504	143.1	473	83.8	637	97.8	422	84.0	788	122.5	421	90.2	1,929	117.2	435	86.7
トマト	1,627	120.7	394	101.9	1,710	73.1	407	109.4	2,102	103.1	411	117.0	5,439	95.0	405	109.9
ピーマン	466	134.0	651	96.8	456	70.4	631	100.2	631	109.1	681	123.0	1,552	98.7	657	107.5
さといも	131	127.8	340	107.4	148	84.3	335	104.9	159	106.1	311	113.0	438	102.4	328	108.1
ばれいしょ類	2,229	135.5	104	85.5	2,137	78.8	120	100.0	2,729	117.2	115	102.1	7,094	106.1	113	95.9
たまねぎ	2,861	102.4	145	118.8	3,119	76.6	139	112.3	3,509	99.3	131	102.0	9,489	91.3	138	110.4
生しいたけ	190	128.9	948	91.3	203	82.2	944	98.1	223	110.4	920	101.9	616	103.3	936	97.4
かぼちゃ	658	98.3	165	126.5	790	74.7	153	119.3	926	105.2	146	125.1	2,374	91.0	154	123.0
さやえんどう	49	132.7	1,152	88.3	66	86.5	1,021	90.6	66	84.1	1,140	132.7	182	94.4	1,100	104.6
かんしょ	826	127.7	237	108.1	859	86.1	231	104.2	952	118.1	233	107.2	2,637	107.6	234	106.4
かぶ	360	128.2	138	71.8	356	74.4	146	93.9	426	91.0	143	109.4	1,142	93.1	142	92.2
ごぼう	178	127.3	398	99.3	186	96.7	396	93.1	206	151.3	392	90.2	570	121.7	395	93.9
こまつ菜	343	137.8	218	49.3	438	93.4	155	49.3	411	94.3	191	85.2	1,192	103.3	186	60.3
こねぎ	129	153.1	678	58.6	150	90.0	631	66.7	173	118.6	573	77.0	452	113.9	622	67.9
糸みつば	43	118.8	386	80.4	57	79.3	456	84.9	58	115.8	342	92.5	158	100.0	395	83.9
しゅんぎく	80	108.9	453	59.4	79	76.1	384	76.3	64	97.3	463	90.1	223	91.7	431	73.8
いら	232	128.1	597	66.3	265	89.1	478	69.4	286	104.4	418	76.2	784	104.1	491	71.3
セルリー	228	115.9	216	69.4	275	82.9	209	66.4	318	102.0	207	75.9	820	97.7	210	70.5
カリフラワー	114	148.6	242	82.8	111	68.2	231	106.3	66	72.5	291	132.1	291	87.9	249	105.7
ブロッコリー	1,056	172.9	306	67.4	1,218	84.7	282	90.6	1,150	82.7	344	122.6	3,424	99.6	310	95.7
サラダな	24	112.6	358	57.3	31	79.4	325	67.4	37	109.0	294	86.4	92	97.6	321	69.3
パセリ	18	154.8	742	65.1	20	87.1	737	82.7	24	120.3	685	87.2	63	113.8	718	79.3
チンゲンサイ	109	119.4	268	68.6	130	84.8	234	71.7	152	112.3	217	80.5	392	102.9	237	73.7
ミニトマト	485	134.8	736	107.7	506	79.1	696	107.0	595	103.3	727	122.9	1,586	100.6	720	113.1
いんげん	70	90.1	785	89.9	88	74.4	789	95.9	97	112.2	798	94.5	255	90.3	791	93.9
そらまめ	67	372.6	558	46.7	135	316.6	514	46.9	229	353.7	456	55.5	431	343.8	490	50.6
えだまめ	1	97.8	2,215	93.9	1	91.2	2,377	103.1	8	887.2	1,164	50.2	10	307.5	1,420	61.1
やまといも	38	128.4	511	81.9	45	91.0	510	82.5	47	107.4	515	85.7	130	105.9	512	83.5
根しょうが	72	104.0	581	104.3	80	70.7	620	104.2	106	108.5	658	106.0	258	92.2	625	105.1
マッシュルーム	45	137.7	868	94.9	47	86.8	872	100.6	55	123.2	853	99.5	147	111.7	864	98.6

品目 (果実)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	1,285	95.2	377	106.2	876	69.6	403	121.9	528	88.0	450	144.3	2,688	83.8	400	118.5
(ハウスみかん)	17	183.1	1,098	100.6	11	81.6	1,102	101.7	13	96.2	1,080	104.5	41	112.7	1,094	102.4
(早生みかん)	11	259.3	413	92.5	6	272.0	338	85.5	1	194.2	988	149.7	18	258.1	422	94.5
(普通みかん)	1,256	94.1	367	105.0	858	69.1	394	122.4	514	87.7	433	146.8	2,629	83.1	389	118.3
かんきつ類	3,378	137.7	321	94.0	3,973	101.0	318	93.9	4,386	114.9	317	97.1	11,737	115.0	318	95.1
りんご類	2,025	133.1	272	87.7	2,232	99.4	268	83.2	2,580	123.8	269	81.4	6,836	116.9	270	83.7
(ふじ)	1,755	140.6	267	86.1	1,924	104.1	265	81.7	2,238	131.0	260	77.8	5,917	123.2	264	81.4
いちご類	1,353	107.7	1,530	120.5	1,360	65.9	1,438	117.1	1,758	112.8	1,359	112.3	4,472	91.6	1,435	116.4
(とちおとめ)	702	114.6	1,422	120.5	721	72.9	1,320	116.5	972	134.2	1,233	111.9	2,396	103.0	1,314	115.8
(あまおう)	198	79.0	1,762	120.6	176	45.5	1,728	121.5	249	93.2	1,640	116.2	623	68.9	1,704	119.1
メロン類	112	90.1	1,113	182.4	95	41.7	1,125	171.1	128	64.0	1,245	158.8	335	60.7	1,167	168.5
(アールスメロン)	57	132.4	1,583	122.7	49	65.4	1,628	111.9	75	98.9	1,666	107.2	181	93.4	1,629	111.8
すいか類	39	203.3	403	88.3	83	114.2	415	100.9	126	131.6	458	102.9	249	132.2	435	100.4
日本なし類	8	853.8	380	137.7	0	0.0	0	0.0	3	40.7	212	92.1	11	143.2	338	143.2
(すいか大王)	30	227.7	315	89.6	59	111.4	335	100.9	68	121.1	359	100.7	157	128.3	342	98.9
(こだますいか)	9	151.6	684	100.8	24	121.6	610	98.0	58	146.7	574	100.6	91	139.5	595	99.7
ぶどう類	30	410.8	512	90.1	35	195.7	535	103.5	54	225.2	442	98.0	119	242.1	487	98.9
かき類	16	51.1	534	138.3	7	29.7	630	129.7	14	144.1	340	57.0	37	57.5	478	105.6

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	881	124.7	81	45.4	1,005	74.7	90	51.5	1,461	87.2	85	72.2	3,348	89.8	86	57.0
にんじん	1,491	132.7	108	59.4	1,424	89.8	101	54.7	1,133	114.8	92	44.3	4,048	109.5	101	53.2
キャベツ類	1,545	325.3	63	23.2	1,530	158.4	64	34.5	1,244	104.6	59	49.9	4,320	164.2	62	36.4
ほうれんそう	64	107.1	287	65.3	54	49.9	305	91.1	45	61.9	340	113.6	163	67.6	308	88.0
ねぎ	581	146.9	268	54.3	539	78.5	284	57.5	741	135.6	238	60.9	1,861	114.3	261	56.8
レタス類	115	86.8	171	62.5	104	54.5	172	84.0	112	72.1	166	108.7	332	69.1	170	82.0
きゅうり	309	136.6	337	115.4	211	54.5	330	112.5	335	118.7	332	116.0	856	95.5	333	114.7
なす	2	136.5	583	90.9	2	79.9	586	97.6	6	96.7	573	97.2	10	98.2	578	96.3
トマト	81	139.2	372	99.8	78	77.6	376	106.3	103	107.5	381	112.5	263	103.0	377	106.9
さといも	32	93.8	324	105.4	36	62.6	323	118.2	39	80.6	295	144.6	108	76.5	313	121.5
かんしょ	410	119.6	231	108.2	462	91.9	229	108.5	544	121.2	224	107.8	1,416	109.4	228	108.1
かぶ	337	130.4	137	71.1	327	74.8	146	94.4	389	90.4	144	111.5	1,053	93.5	142	92.7
こまつ菜	15	125.0	223	59.3	22	87.4	205	81.9	15	87.2	230	100.9	51	95.6	217	80.2
しゅんぎく	32	106.1	457	61.4	27	71.6	410	79.4	17	96.7	489	92.4	77	89.0	448	74.7
サラダな	7	78.4	396	64.3	9	62.6	353	74.5	11	102.0	308	91.8	28	79.6	346	74.0
パセリ	10	151.8	621	62.1	9	72.7	697	86.8	10	102.8	703	93.8	28	101.1	673	81.0
ミニトマト	33	110.7	797	109.9	30	70.1	790	111.5	41	99.6	788	118.4	104	91.4	791	113.5
やまといも	21	107.7	534	86.8	25	74.3	541	88.0	24	79.1	533	89.1	69	83.8	536	88.0

品目 (果実)	2月下旬				3月上旬				3月中旬				2月下旬～3月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	3	84.3	1,296	104.9	4	98.5	1,312	93.6	4	85.0	1,522	88.5	11	89.4	1,390	93.2
(アールスメロン)	3	84.3	1,296	104.9	4	98.5	1,312	93.6	4	85.0	1,522	88.5	11	89.4	1,390	93.2

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。－は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 4月の見通し

野菜

春物野菜の最盛期となり、関東と西南暖地からの入荷が中心となる。

入荷量は、主要産地で気温が高く、生育が前進化している「にんじん」「たまねぎ」などは前年を大幅に上回り、その他多くの品目は前年並から前年をやや上回る見込み。野菜全体では、前年を上回る見込み。

価格は、「にんじん」「キャベツ類」は前年を大幅に下回り、その他多くの品目は前年並と見込まれる。野菜全体では、安かった前年並の見込み。

果実

「かんきつ類」「りんご類」「いちご類」の出回りが主体となる。

入荷量は、「かんきつ類」は生育順調で、出荷が前進傾向のため、少なかった前年を上回る見込み。不安定な出回りが続いた「いちご類」も、3番果房の出荷ピークに入り、入荷量が増える見込み。

価格は、入荷量が多い見込みの「かんきつ類」及び下位等級の発生が多い「りんご類」は、前年を下回る見込み。

果実全体では、入荷量は前年を上回り、価格は前年を下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (県内産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗	⇒	⇒	↘↘	主産地は千葉県。神奈川県は切り上りが早まり、千葉県は出荷が前進傾向。入荷量は少なかった前年をやや上回り、平年並の見込み。
キャベツ類	⇒	⇒	↓↓↓	↓↓↓	主産地は神奈川、愛知、千葉県。各県とも生育は順調で、潤沢な入荷が続く予想。入荷量は前年及び平年並の見込み。
ほうれんそう	↗	⇒	↘	↘↘	主産地は茨城、群馬県。露地ものは暖冬で生育が前進。入荷量は少なかった前年をやや上回り、平年並の見込み。
ねぎ	↗↗	⇒	↘	↘↘	主産地は千葉、埼玉県。温暖な気候で、各県生育は順調で、太さも出ている。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
きゅうり	⇒	⇒	⇒	↓↓↓	主産地は埼玉、群馬県。これまでの天候不順の影響は緩和し、生育は概ね順調。入荷量は前年及び平年並の見込み。
トマト	⇒	⇒	⇒	↘↘	主産地は熊本、群馬県。熊本県は生育不良が懸念されるが、群馬県は着果良好。入荷量は前年及び平年並の見込み。
びわ	↗↗	⇒	↘	⇒	主産地は長崎、千葉県。ハウス中心の出回りとなり、生育は平年並～やや進んでいる。入荷量は少なかった前年をかなり上回り、平年並の見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

キャベツ類

主要産地のキャベツ類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	30年4月入荷量	30年4月シェア率
神奈川県	9,152 t	48.6 %
愛知県	6,296 t	33.4 %
千葉県	3,065 t	16.3 %
茨城県	188 t	1.0 %

4月入荷予測	19,150t(前年比100.9%、平年比102.1%)		
4月価格予測	70円(前年比77.9%、平年比64.2%)		
4月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 保合 ⇒

今後の競合産地の動向は?

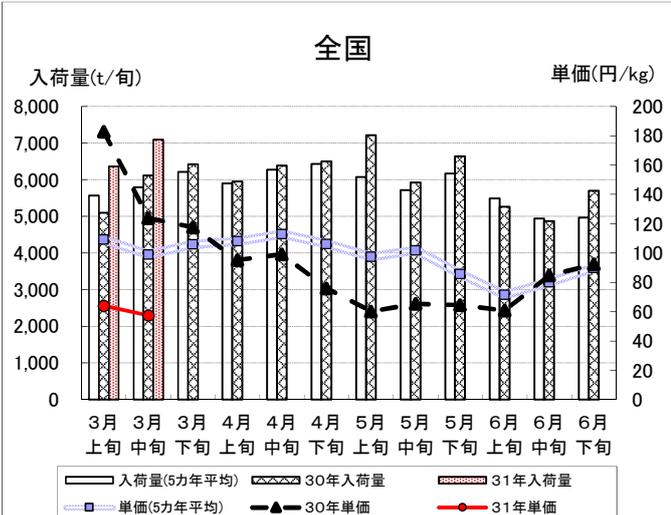
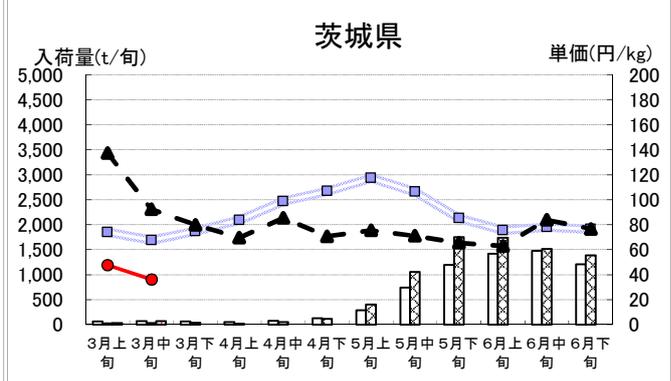
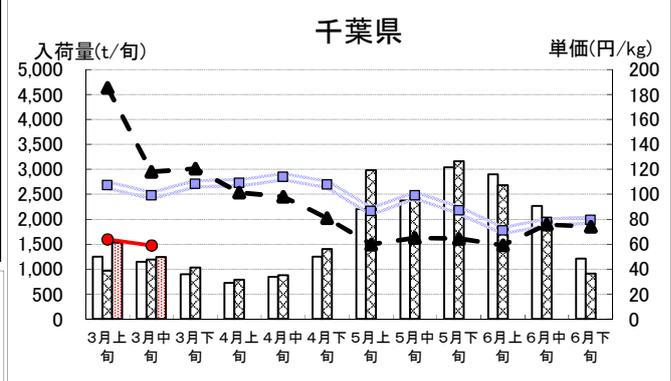
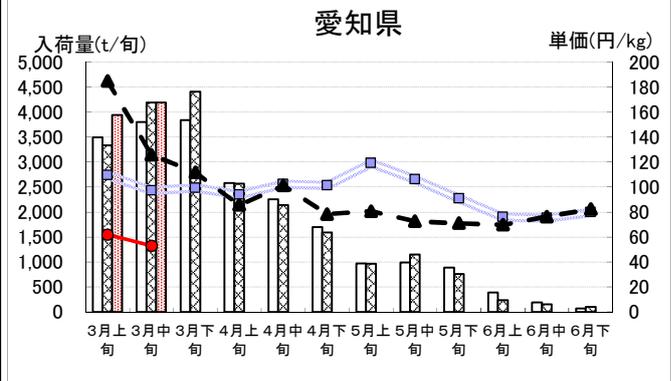
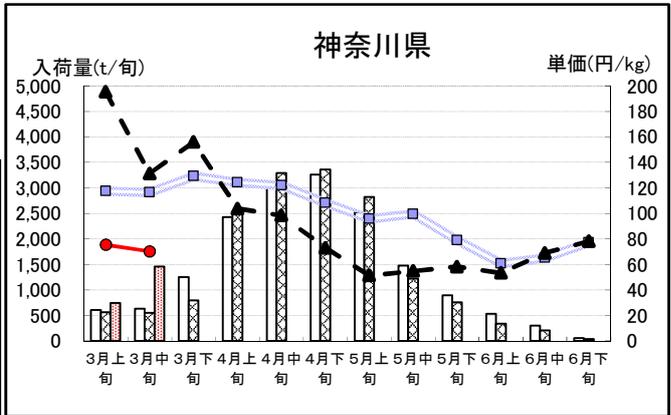
東京都中央卸売市場におけるキャベツ類の主産地は、愛知県と千葉県、神奈川県です。3月は愛知県産が中心で、4月以降は関東近県の産地が中心となり、千葉県産は5月をピークに6月まで出荷が続きます。その後は、北関東・東北へと主産地が切り替わって行きます。

本年は、9月末の台風24号の被害を受け、植え直しを行った産地もありましたが、その後は好天に恵まれたことから年内の生育は前進傾向となりました。年明け後は、低温・干ばつの影響で、生育は平年並に戻りつつありましたが、2月以降は高温と適度な降雨により、生育が再び前進化しています。

各産地の4月の入荷見込みは次のとおりです。
神奈川県産は、生育が14日程度前進しており、入荷量は、前年及び平年並の見込みです。
愛知県産は、生育順調で大玉傾向。入荷量は前年を上回り平年もやや上回る見込みです。

千葉県産は、生育が7日以上前進しており、入荷量は多かった前年を下回りますが、平年並の見込みです。

全体では、入荷量は多かった前年並で、平年を上回る見込みです。価格は、潤沢な入荷が続くことから、前年及び平年を大幅に下回る見込みです。



Ⅱ 花き(切花)情報

3月(中旬)までの経過

3月上旬までは入荷量少なかったが、彼岸需要がある中旬は入荷量が平年を上回った。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	3月上旬は平年をかなり下回ったものの、中旬は平年をかなり上回った。
相場	3月上旬は平年をかなり下回ったものの、中旬は平年並だった。
動向	コギクは沖縄県産の生育前進の影響から、3月中旬の入荷量は平年をかなり下回った。カーネーション・ガーベラ等は需要期を迎え品薄感から高値となった。

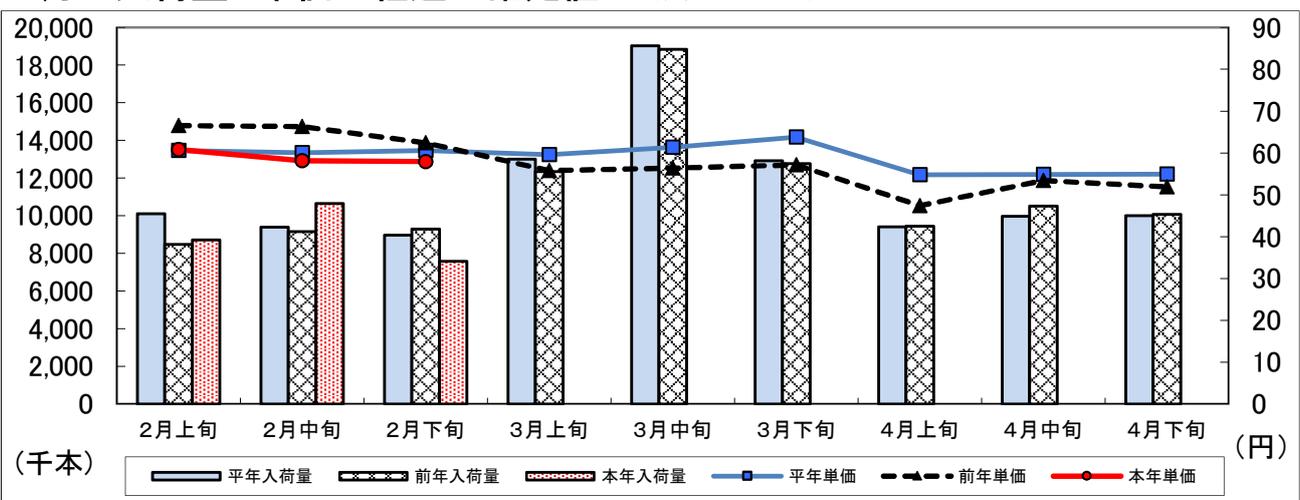
品目別経過

品目	経過	
小菊	(株)大田花き	上旬から入荷量が増加し、若干前進気味の入荷となった。色により偏りがあり、黄色はやや少なかった。
ストック	F A J	主に千葉県産が入荷。例年になく早い入荷となり、中旬まででほぼ終了した。

4月の見通し

品目	見通し	
カーネーション	(株)大田花き	国産は大きなまとまりなく、だらだらとした入荷となる。輸入は仕入れ量を抑える見通しのため、前年並の低相場にはならない見込み。
カラー	F A J	入荷のピークとなる見込みだが、3月数量多く、平年よりも少ない見込み。

2月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株)大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	H31.2月				累計 (H31.1～H31.2月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	19,258	1.00	179	0.71	38,733	1.01	182	0.73
だいこん	2,133	1.05	82	0.49	4,339	1.07	75	0.43
にんじん	1,145	0.96	90	0.54	2,607	1.13	90	0.58
はくさい	1,840	1.13	51	0.33	4,344	1.12	48	0.36
キャベツ	3,241	1.14	76	0.35	6,160	1.10	84	0.43
ねぎ	731	0.89	269	0.71	1,597	0.91	257	0.73
トマト	493	0.91	391	0.97	1,116	0.90	349	0.87
きゅうり	509	0.96	358	0.99	1,011	1.01	397	0.98
ばれいしょ	1,289	0.79	103	0.82	2,475	0.83	110	0.91
たまねぎ	1,945	0.96	148	1.35	3,535	0.88	146	1.40
レタス	853	1.15	198	0.58	1,724	1.23	213	0.58
果実	4,320	1.00	413	0.96	8,901	1.04	399	0.92
みかん	1,079	0.99	295	0.95	2,857	1.12	276	0.84
かき類	13	0.47	406	1.12	60	0.55	413	1.25
グレープフルーツ	91	1.64	180	0.67	165	1.18	188	0.76
なし類	2	0.13	185	0.67	10	0.31	267	0.89
ぶどう類	32	3.13	484	0.80	57	2.95	483	0.76
いちご類	462	0.76	1,442	1.19	900	0.86	1,416	1.08
すいか類	2	1.50	472	0.96	3	1.23	431	1.05
メロン類	24	0.36	709	2.62	49	0.45	652	2.10
バナナ	341	0.95	170	1.03	691	0.93	170	1.05
りんご	716	0.99	267	0.90	1,336	0.95	267	0.95
その他	222	0.79	218	1.09	448	0.86	249	1.10
青果物合計	23,800	1.00	222	0.79	48,082	1.01	223	0.79

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	H31.2月				累計 (H31.1～H31.2月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	1,114	0.37	55	0.85	2,239	0.37	63	0.96
きく	251	0.27	70	1.07	585	0.31	74	1.09
バラ	32	0.23	92	1.09	69	0.24	92	1.22
カーネーション	154	0.41	39	0.82	308	0.40	45	0.99
枝物	34	0.34	123	1.08	69	0.37	113	1.05
鉢物	60	0.76	150	1.05	113	0.80	157	1.07
その他	1	1.00	34	0.25	2	1.00	27	0.36
花き合計	1,209	0.38	61	0.89	2,423	0.38	69	1.00

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

※平成30年4月1日から市川市地方卸売市場が民営化され調査対象外となった。

IV や っ ら っ ば 閑 話

「野菜のお名前」

平成元年5月に開場した大田市場は、今年の5月で30周年を迎えます。平成生まれのはずの大田市場ですが、「昭和」の名残が垣間見える場所があります。一般の見学者ルートの通路に設置されている野菜・果物の数え歌のパネルがそれで、「昭和64年3月竣工」となっています。わずか7日間で終わった昭和64年とパネル作成時期が前後してしまった結果です。平成生まれの人は「昭和64年3月」の違和感に気づかないかもしれませんね。

さて、その数え歌の中身はというと、『一はイチジク、二はニンジン…』といった具合で一から十まであり、十の絵はカボチャです。初めて見た時はカボチャと十が結びつかなかったのですが、これはカボチャの異名トウナス（唐茄子）からとっている数え歌です。カボチャに限らず、複数の名前を持つ野菜・果物は沢山あります。ジャガイモ・馬鈴薯、サツマイモ・甘藷、キャベツ・甘藍、サクランボ・桜桃などなど。

なぜ複数の名前があるのか、理由の一つは、日本固有の名前の他に、中国に由来する名前があるためです。動植物を分類し、名前をつけることは博物学の基本ですが、特に中国においては、薬草研究の学問として「本草学」が発達しました。本草学は日本には奈良時代に伝えられたと言われており、江戸時代に最も盛んとなって、貝原益軒の「大和本草」、小野蘭山の「本草綱目啓蒙」などが著されました。日本の本草学は中国の書物が前提にあるので、「中国の本にある●●は、我が国でいう△△だ」、といったように名前と実物を突き合わせることもありました。これが植物に複数の名前がある背景の一つです。

ところで、本草学と現代に通じる植物学をつなぐ人物として、植物学者の牧野富太郎博士がいます。牧野博士は江戸時代末期の文久2年（1862年）、高知県で生まれ、小学校を中退後に独学で植物学を研究し、1,500の植物を命名するなど植物学の発展に大きく貢献しました。「牧野日本植物図鑑」は現在も出版されている植物図鑑のベストセラーです。牧野博士の植物研究は本草学の影響も受けていますが、博士は先人の植物の名称使用の誤りについて、しばしば指摘しています。例えば『ジャガタライモ、すなわちジャガイモ (*Solanum tuberosum* L.) を馬鈴薯ではないと明瞭に理解している人は極めて小数で、大抵の人、否な一流の学者でさえも馬鈴薯をジャガイモだと思っているのが普通であるから、この馬鈴薯の文字が都鄙を通じて氾濫している。が、しかしジャガイモに馬鈴薯の文字を用うるのは大変な間違いで、ジャガイモは断じて馬鈴薯そのものではないことは最も明白かつ確乎たる事実である。こんな間違った名を日常平気で使っているのはおろかな話で、これこそ日本文化の恥辱でなくてなんである。』（引用：『植物一日一題』）。私たちに馴染みの植物名の由来が誤りだという驚きもありますが、同時に言い方が鋭いというか、独特の言い方で面白さがあります。はっきりとした物言いには背景には植物学への思いと、苦学して究めた自負があるように感じます。ちなみに、出身地の高知県では牧野博士の業績を広く知ってもらうため、博士の生涯をNHKの朝ドラにしよう、という運動もあるそうです。博士の96年の波瀾万丈の人生はきっと面白いドラマになると思います。

牧野博士が命名した中には、ワルナスビ（悪茄子）、ハキダメギク（掃溜菊）のようなユニークなものもあります。もし、博士が昨今の交配でつくられた新野菜を見たらどんな名前をつけるのか — 興味深いところです。

(狐の茶袋)

V 首都圏 掲 示 板



読者の皆様へのお知らせ

暦の上では春ですが、まるで初夏のような陽気が続いています。大田市場では桜が咲き、新しい門出を祝福するにふさわしい景色となっています。

さて、4月1日付けの定期人事異動により、首都圏マーケティングセンターも下記のとおり新体制でのスタートとなりました。

今年度も引き続き、本県産青果物・花きの有利販売に向け、流通販売情報の収集・発信、首都圏におけるセールスプロモーションの展開、量販店等大口需要に対応したオール千葉での販売体制づくりの推進等に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

記

平成31年度

農林水産部流通販売課首都圏マーケティングセンター職員

職	氏 名	連絡先
室 長	加 藤 英 和 (新任)	〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1 大田市場事務棟4階 電話：03-5492-5416 FAX：03-5492-5407
主 査	寺 栖 和 宏 (新任)	
副主査	入 倉 敏 広	
副主査	大 崎 望 将	